vascoda—学術ポータル

ROSEMANN, Uwe¹ : 著

熊谷玲美² : 訳

著者抄録 : vascodaは、2003年8月にインターネット上に開設されたドイツの科学技術ポータルである。vascodaは、全科学分野における質の高い情報へのアクセスポイントであり、分野横断的な検索機能によってあらゆる文書へのアクセスを提供している。vascodaの概要、ならびに協力パートナーであるInformation Alliance（連邦教育研究省後援）や分野別バーチャル図書館、電子ジャーナル図書館（ドイツ研究協会後援）について紹介した。また、今後さらにvascodaの協力パートナーを国内外に拡大し、互いに資源や情報を共有することにより、世界規模で利用可能な情報のワンストップショップを目指す取り組みについても述べた。

キーワード : vascoda, Information Alliance, ポータル, 電子資料, 電子ジャーナル, バーチャル図書館, 電子ジャーナル図書館, インターネット, 分野別ポータル, ワンストップショップ

vascoda –An Academic portal

written by ROSEMANN, Uwe¹

translated by KUMAGAI Remi²

Author Abstract: vascoda is a new portal for scientific information that has gone online since August 2003. vascoda is a central access point to quality information in all fields of science allowing interdisciplinary search, and offers access to all types of documents. This article describes overview of vascoda, its partners such as Information Alliance sponsored by Federal Ministry for Education and Research, subject-based Virtual Libraries and the Electronic Journals Library sponsored by German Research Foundation. In addition, it deals with future plan of vascoda with world-wide access, which will actualize by enhanced partnership with both domestic and international organizations.

Key words: vascoda, Information Alliance, portal, digitized material, electronic journal, virtual library, electronic journals library, Internet, subject portal, one-stop-shop

原稿受理 (2004-03-11)

(情報管理 47 (2): 102-107)

1. はじめに

vascoda (URL: <http://www.vascoda.de> (accessed 2004-03-16))は、2003年8月にインターネット上に開設された新しい科学情報ポータルである。英米文化(Anglo-American Culture)から木材工学(Wood Technology)まで全科学分野を網羅した、中核的なアクセスポイントである。このポータルでは学際的な横断検索が可能であり、また約30の主題分野

別ポータルへのアクセスも提供する。ここでいう主題分野ポータルとは、単なるサブジェクトゲートウェイより意味が広い。この主題分野ポータルからは、あらゆる種類の文書にアクセスできる。すなわち、電子版のみで作成された資料、デジタルフォーマット化された資料および印刷資料に、無料もしくは論文一部売り形式 (pay-per view) で入手できる。

「vascodaの意味は？」とよく聞かれるが、この名

¹ ハノーバー大学図書館／技術情報図書館 E-mail: Uwe.Rosemann@tib.uni-hannover.de

² 独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター (〒102-0084 東京都千代田区二番町3 麹町スクエア3F)
Tel. 03(5214)7489 Fax.03(5214)7385 E-mail: rkumagai@jst.go.jp

¹ University Library of Hannover and Technical Information Library (Welfengarten 1B D-30167 Hannover, Germany)

² Center for Research and Development Strategy, Japan Science and Technology Agency (Kojimachi Square Bldg. 3, Nibancho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-0084)

図1 vascoda (<http://www.vascoda.com>) トップページ

称に特に意味はない。vascodaは非常に多くのサービスを対象とするので，“info”や“doc”，“lit”などのような何かを含む通称ではひとつの側面だけを示唆するが，それ以外の重要な要素がすべて抜け落ちてしまうとの考えがあったためこの名称にした。

名称に特に意味はないがロゴには意味を持たせている。このロゴのイメージは3次元スクリーンを表し，世界中に分散する豊富な情報資源への入口を意味している。

vascodaから，フルテキストやリンク集，書誌およびその他のデータベース，主題に特化した検索エンジンなどにアクセスできる。vascodaの背景には，質の高い情報へのアクセスを容易にするという考え方がある。Googleで検索すると，学術研究もしくはその他のレベルの高い研究に役立つ数多くの検索結果とともに，無用なサイトも無数にヒットするが，この新しいポータルは質の高い資料のみをインデックスする。したがって，利用者はより迅速に情報を見つけられるうえ，求める情報を正確に見つけることができ，大規模な検索エンジンで間違って検索されてしまうようなサイトを検索せずに済む。標準的な検索エンジンはWebページの主題や質に関係なくインデックスするが，vascodaは質の高い情報にのみアクセスするので，

利用者は信頼できる情報源だけを確実に探すことができる。さらに，インターネット上の情報源だけでなく，研究に関連のあるすべての種類の文書や情報も提供する。これは種々の図書館OPACやその他の書誌情報をvascodaの検索に統合させているためである。ある情報がいまだデジタル化されていないとしても，vascodaから該当する印刷体資料の書誌情報が得られるので，その資料を文献提供サービスもしくは図書館相互貸借サービスで入手できる。現在，これらOPACや一部のデータベースなどはまだ学際的横断検索に組み込まれていないが，主題分野別ポータルからはそれらにアクセスでき，vascodaはそのような主題分野別ポータルへのゲートウェイとなっている。

2. vascodaの後援機関・参加機関・サービス

ドイツの主題分野別情報の最も重要な後援機関はBMBF（連邦教育研究省）とDFG（ドイツ研究財団 German Research Foundation）で，それぞれ複数の競合アクセスポイントを後援する代わりに協力してこのポータルを実現させ，ひとつの統合ポータルのメリットを引き出そうとしている。

40以上ものドイツの機関は，世界中の協力機関

と共同して、あらゆる科学情報の真のワンストップショップを利用者に提供している。このプロジェクトのパートナーは、図書館、情報センターおよび質の高い学術情報を提供する機関である。

vascodaの公開は、DFGが後援する主題分野ベースのVirtual Libraries とElectronic Journals Libraryのネットワークおよび、BMBFが後援するInformation Allianceとの協力を通して実現した。これら機関の協力で情報探索とフルテキスト資料へのアクセスを組み合わせることができた。また、リンクや簡単な概要があるので、ほかのサービスへ簡単にナビゲートできる。

対象となる利用者グループは、高等教育機関や学術研究コミュニティのほか、大規模なビジネス・工業分野で働く研究者や、質の高い情報に関心のあるその他の人々である。

2.1. Virtual Libraries, Information Alliance, およびEZB

それぞれのVirtual Librariesは、ある特定分野の研究に関連のある情報や文書へのアクセスを提供する。蓄積されているか、あるいは世界中に分散している文献の検索やデリバリー（提供）は、Virtual Librariesで統合的に行われる。

Virtual Librariesは印刷体だけでなく、デジタル資料も提供している。もしコンテンツが研究に関連すれば、その文献は収録対象となる。現在のところ、それぞれのVirtual Librariesの大半は、データベースやWebサイト、雑誌など異なるコレクションを検索するために、さまざまな下部セクションを設定している。長期的目標は、異なるデータコレクションを同時に検索でき、その検索結果を構造化して表示する検索エンジンを提供することである。そうなれば、それぞれのVirtual Librariesすべての検索結果のメタサーチはvascodaポータルに含まれるようになり、分散した情報資源への統合的なアクセスが可能となる。現時点で23のVirtual Librariesがあり、そのうち19がすでにオンラインで公開されている。Virtual Librariesは広範囲の主題分野をカバーしており、さまざまな形態をとっている。

○英米文化 Virtual Library

Virtual Librariesの一例として、英米文化Virtual Libraryを紹介する。

このVirtual Libraryは、英米文学や歴史の特別コレクションへのアクセスを提供する。メタサーチでは、最も重要なデータベースや目録、電子版のフルテキストが統合されている。現時点では多く

図2 英米文化バーチャル図書館 トップページ

の専門データベースがGoettingenのIPアドレスからしかアクセスできない。なぜならばその地域のIPアドレスがこのライブラリーのライセンスを得ていたからである。将来は、これらデータベース検索からの恩恵に、より多くの利用者が浴せられるようライセンス契約の対象となる利用者グループに拡大されよう。

○政治学 Virtual Library (ViFaPol)

別の例としては、政治学Virtual Library (ViFaPol)を示す。

図3 ViFaPol (<http://www.vifapol.de/>) トップページ

このライブラリーは、インターネット上の情報資源や電子フルテキスト、記事、データベースの他、情報利用の能力向上の手助けとなるオンラインチュートリアルも提供する。ViFaPolのチュートリアルは、学生や研究者に効果的な情報検索方法を教える。チュートリアルはダウンロード可能で、利用者はオフラインで情報スキルを試したり向上

図4 ViFaTec (<http://vifatec.tib.uni-hannover.de/>) トップページ

させることができる（現在はドイツ語版のみだが、近日中に英語に翻訳予定）。

○工学サブジェクトゲートウェイ (ViFaTec)

3番目はまったく異なる種類のVirtual Libraryの例で、それが工学サブジェクトゲートウェイ (ViFaTec) である。

ViFaTecは技術者や科学者向けに、工学関連オンライン情報への構造化されたアクセスを提供する。さまざまな情報源からの印刷体および電子資料へのアクセスができる。ViFaTec Subject Guideは、資料のタイプと主題分野を組み合わせが可能なので、利用者は非常に特定の検索を行える。例えば、機械工学分野の会議録のみの検索や、化学工学分野の研究プロジェクトのみの検索というようにである。

○電子ジャーナルライブラリー

電子ジャーナルライブラリー (Elektronische Zeitschriftenbibliothek, EZB)は、インターネット上に搭載されている学術雑誌の効果的な利用ができることを目的としている。

このサービスは、ドイツのレーゲンスブルグ大学図書館と、ミュンヘン工科大学図書館との協力で開発された (URL: <http://rzblx1.uni-regensburg.de/ezeit/> (accessed 2004-03-16))。

EZBは科学学術雑誌のフルテキストへの迅速で、構造化・標準化されたアクセスを提供する。現時点では、すべての分野を対象に、17,363誌がリンクされており、そのうち1,982誌がオンラインのみで

図5 EZB (<http://rzblx1.uni-regensburg.de/ezeit/>) トップページ

発行されている雑誌である。6,170誌は無料で閲覧できる。さらに、参加図書館は、購読契約している個別の雑誌のフルテキストにアクセスできる。このEZBのサービスを共同のポータルに統合すれば、EZBが保有する情報すべてにアクセスできるようになる。そうなれば、利用者に対し、彼らが世界中どこにいても、各雑誌のライセンス情報を提供できる。つまり、利用者はたちどころに、該当雑誌が無料かどうか、直接アクセスできるのか、どの機関がその雑誌を購読しているのか、どうすれば利用できるかを知ることができるようになる。もし利用者が該当雑誌を購読している機関から vascoda にアクセスしているのであれば、そのまま雑誌のフルテキストに直接アクセスできることに

なる。

○Information Alliance

Information Allianceはデジタルフルテキストや印刷体文献、および灰色文献の提供に力を入れている。Information Allianceのパートナー機関は、情報センターや専門図書館である。パートナー機関は協力して、データベースの検索結果と、出版社や灰色文献もしくはプレプリントサーバいずれかで提供される電子化フルテキストをリンクさせる努力をしている。EZBとVirtual Libraries, Information Allianceが組み合わせさせたサービスにより、数多くのフルテキストデータへ直接アクセスしやすくなっているのである。

Information Allianceのパートナーは、EconDoc (URL: <http://www.econdoc.de> (accessed2004-03-16))やGetInfo (URL: <http://www.getinfo-doc.de> (accessed2004-03-16)), infoconnex (URL: <http://www.infoconnex.de> (accessed2004-03-16)), MedPilot (URL: <http://www.medpilot.de> (accessed2004-03-16))である。

GetInfoは科学技術分野の広範なデジタル資料を扱うワンストップショップである。

GetInfoは、電子形態でいまだ利用できない文献(例えば、印刷体資料もしくはマイクロフォーム)へのアクセスも提供する。GetInfoを利用すると、TIB Hannover (ハノーバー技術情報図書館)、FIZ Karlsruhe, TIBorder, FIZ AutoDOCの諸サービス経由で、まだ電子化されていない豊富な専門情報に

アクセスできる。これらのサービスはGetInfoに統合されているが、いずれかを經由で、利用者に資料が送られる。

理想的には、該当文献のフルテキストが最初の検索からさらに2回だけクリックすれば入手できることである(その文献が電子形態であればだが)。

Virtual LibrariesとInformation Alliance, EZBの協力で、信頼できる質の高い情報の入手が簡単になった。利用者があらゆる学術分野および種類の資料に、簡単に便利にアクセスできることが、vascodaの最も重要な目的である。あるひとつの主題に特化したエントリーポイントが、この学際的サービスの基本的な要素である。それぞれの主題分野のサービスは、より複雑な横断検索やブラウジングができるよう、少なくとも部分的に、標準化されねばならない。vascodaのパートナーである上記3機関がvascodaの公開を実現させた。

2.2. 新しいパートナー：The Consortium of Library Networks

2003年9月、vascodaのパートナー機関と、The Consortium of Library Networks (URL: <http://www.ag-verbund.de> (accessed2004-03-16))は、将来の協力、およびvascoda経由でコンテンツを共同で提供することを決定した。また、コンソーシアムの参加機関は、vascodaでも利用できるソフトウェアコンポーネントを開発する予定である。今回新しくパートナーになったのは、Bibliotheks-Zentrum Baden-

図6 GetInfo (<http://www.getinfo-doc.de>) トップページ

Württemberg (BSZ), Bavarian Library Network (BVB), Die Deutsche Bibliothek (DDB), Common Library Network (GBV), Hessisches BibliotheksInformations-System (HeBIS), Online Utility and Service Centre of NRW (HBZ), Kooperativer Bibliotheksverbund Berlin-Brandenburg (KOBV), および the German Journal Database (ZDB) である。

このコンソーシアムが提供する豊富な資料の統合方法に関する新たな戦略は現在策定中である。図書館ネットワークはさまざまなサービスを提供する。中でも最も重要な製品は確実に巨大な地域オンライン目録である。

3. 世界規模のアクセスと協力

vascodaはドイツの機関が構築し、運営しているが、ほかのインターネット上のその他の情報サービス同様、世界中の利用者がvascodaというポータルにアクセスでき、その多様なサービスの恩恵に浴せられるのである。もちろん、特定場所や地域、国別のライセンス契約があるので、サービスが制限されることもあり、あるいは、外部利用者が料金を支払わねばならないサービスもあるが、全体として、ほとんどの部分的サービスが無料で利用できる。

質の高い情報の提供や、資料への長期的アクセスの確保は、関係機関に多大の時間と金銭的負担を求めることになる。そこで、資源を節約するための作業分担が必要である。つまり、国家規模や国際的規模の協力が、このような大規模プロジェクトの長期的発展に不可欠なのである。

国内の協力機関数は増加し続けている。可能な限り、協力機関は主題分野で協力すべきである。

一方、海外でも、情報専門家や科学者が、質の高い情報へのアクセスポイントを開設しようと、ゲートウェイやポータルに取り組んでいる。例えば、Resource Discovery Network (URL: <http://www.rdn.ac.uk/> (accessed2004-03-16)) や science.gov などは、すでに印象的なサービスを提供している。分野によっては、それらネットワークの目標は vascoda のそれと同じであり、ものによっては、関心事項が異なるものもある。このようなネットワークやその他のネットワークと知識や経験を交換す

ることが、他の国際的サービスと将来的に提携できるような質の高いサービスの開発に不可欠である。互いに学び合うことによって、それぞれの資源を最大限に活用することや、ソフトウェアや有用な知識を共有することで、時間や予算を節約できることになろう。

2003年8月、vascodaの代表者はデンマークデジタル図書館、DEF (URL: http://www.deff.dk/index_eng.html (accessed2004-03-16)) の代表と面会した。それぞれのプロジェクトの構成や概念について、互いの経験を交換した。主題分野レベルの情報資源の共有は、見込みのある将来の協力のひとつである。デンマークやその他国際的なポータルと、情報資源を交換することは、参加パートナーにとって有益となろう。

4. 見通し

vascodaの第2弾公開は2004年春に予定されており、コンテンツとパートナー機関がさらに増える予定である。長期的には、vascodaは利用者にとって優れたサービスを提供する真のワンストップショップへと発展することになっている。そうなれば、vascodaはドイツデジタル図書館の中核と称せられる。ドイツデジタル図書館は、将来は、科学者や学生、その他の質の高い情報に興味がある人々に対し、あらゆる種類の情報探索の中心的なアクセスを提供しよう。現時点での理想としては、vascodaは、利用者が必要とするあらゆる種類の資料（雑誌記事、本、ビデオ、スライドなど）の検索から入手までのすべてのサービスや、あるいは利用者が入手した資料を自身の参考レファレンスデータベースの中で再利用できる可能性や、vascodaに接続したモジュールから研究結果を公表できる可能性をも提供できよう。

5. 参考資料

vascodaについての記事やパワーポイント資料は、以下のWebサイトで見ることができる。

(URL: http://www.virtuellefachbibliothek.de/dvf_publicationen.htm; <http://www.dl-forum.de/foren/vascoda/index.html> (accessed2004-03-16))